

平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 ミナトホールディングス株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 若山 健彦
 (東証 JASDAQ コード: 6862)
 問合せ先 取締役経営企画部門長 伊藤 信雄
 (TEL 03-5847-2030)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日の決算発表時に公表しました平成 30 年 3 月期通期業績予想の修正について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,229	百万円 156	百万円 112	百万円 80	円 銭 10.92
今回修正予想 (B)	11,000	156	112	80	10.92
増 減 額 (B-A)	2,771	—	—	—	
増 減 率 (%)	33.7	—	—	—	
(ご参考) 前期通 期実績 (平成 29 年 3 月期)	7,981	119	71	11	1.54

※ 1 株当たり当期純利益につきましては、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 5 株につき 1 株の割合で実施した株式併合の影響を考慮した金額を記載しており、提出日現在の期中平均株式数にて算出しております。

2. 修正の理由

スマートフォンの大容量化に加え、SNS や e コマース、クラウドサービス向けデータセンターの容量拡張やサーバー需要の拡大により、メモリーモジュール関連事業における主要製品の DIMM (Dual Inline Memory Module) 及び SSD (Solid State Drive) の主要調達部材である DRAM と NAND の需要が高まっております。特に当第 2 四半期連結累計期間においては NAND の供給不足以上に、半導体メーカーの投資不足の影響もあり DRAM の供給が逼迫している状況です。これらを要因として DRAM 及び NAND の需給が引き締まったことにより、同事業においては製品価格の上昇及び販売数が増加し、当初予想を大きく上回る売上見込みとなりました。従って、通期連結業績予想について売上高を 11,000 百万円に修正いたします。なお、部材の供給不足により調達価格が上昇している影響もあり、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益については、前回発表予想から据え置きとしております。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上